

みずほCustomer Desk Report 2022/07/08 号 (As of 2022/07/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	135.89
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	135.96	1.0181	138.38	1.1912	0.6781
SYD-NY High	136.22	1.0220	139.05	1.2030	0.6848
SYD-NY Low	135.55	1.0145	138.00	1.1912	0.6765
NY 5:00 PM	136.00	1.0161	138.17	1.2027	0.6840

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,384.55	346.87	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	11,621.35	259.49	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,902.62	57.54	米国2年債	3.0234%	0.0297%
日経平均	26,490.53	382.88	米国5年債	3.0370%	0.0581%
TOPIX	1,882.33	26.36	米国10年債	2.9992%	0.0666%
シカゴ日経先物	26,690.00	390.00	独10年債	1.2885%	0.1335%
ロンドンFT	7,189.08	81.31	英10年債	2.1265%	0.0350%
DAX	12,843.22	248.70	豪10年債	3.4790%	0.0500%
ハンセン指数	21,643.58	56.92	USDJPY 1M Vol	11.83%	▲1.22%
上海総合	3,364.40	9.05	USDJPY 3M Vol	11.79%	▲0.69%
NY金	1,739.70	3.20	USDJPY 6M Vol	11.36%	▲0.52%
WTI	102.73	4.20	USDJPY 1M 25RR	▲1.41%	Yen Call Over
CRB指数	285.08	8.95	EURJPY 3M Vol	13.47%	▲0.65%
ドルインデックス	107.13	0.03	EURJPY 6M Vol	13.06%	▲0.56%

東京	前日海外時間のドル買いの流れを引き継ぎ、オセアニア時間に一時136.14まで上昇し、東京時間は135.96レベルでオープン。米債利回りの上昇が一服したことを受けてドル円は上値重い展開。仲値にかけては売りフローが散見され、ドル円は一時135.55まで下落し、その後やや買い戻されるも135円台後半でのみ合い推移となり、結局135.84レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は135.84レベルでオープン。材料難の中、米長期金利が低調に推移した事で、ドル円もドル売り優勢となり135.69レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.1943レベルでオープン。英国の官僚が次々に辞任した事で、英ポリス首相の辞任が報じられると、政治不安緩和への期待からポンドドルは上昇。1.2024まで値を上げるも、その後は今後の状況を睨みながら、1.1976レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場ではドル円は一時135.55まで下落する局面もあったものの、ユーロドルが下落する動きもあり、136.22まで戻すが、ユーロ円の下落に上値を抑えられ、135.69レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ一時135.56まで下落するが、米新規失業保険申請件数が予想範囲内の結果であったことや、米金利が上昇する動きに135.93まで戻す。その後も米金利が上昇する動きに136.00まで戻す。午後は、ウォー理事の7月の75bpと9月の50bpの利上げを支持をするとの発言が伝わり、ブラード・セントルイス連銀総裁の7月の75bpの利上げを支持との発言が伝わったことで金利がじり高で推移する中、ドル円も136.10まで戻し、136.00レベルでクローズした。一方、海外市場でドル買いがやや落ち着いたものの、ユーロドルは欧州債市場の分断化を阻止する新ツールが今月21日のECB理事会で間に合う準備ができるのか確認がないとの関係者筋の話が伝わり、上値は重く1.0191レベルでNYオープン。朝方はユーロ円が下落する動きに昨日の安値1.0162に迫る1.0165まで下落するが、ショートカバーが持ち込まれ1.0193まで戻す。しかし米金利が上昇する中、ユーロドルの上値は重くじり安で推移し1.0145まで下落する。午後は1.0160を挟んでの閑散な推移が続く、1.0161レベルでクローズした。

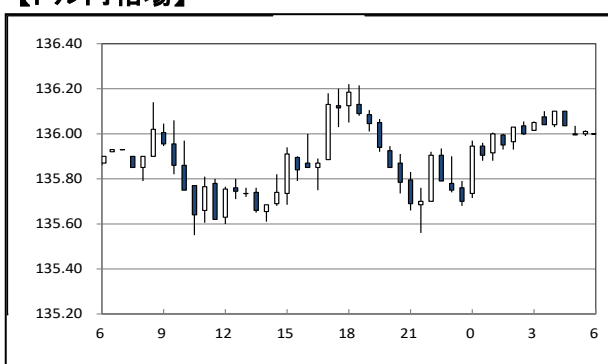
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月7日	10:30	豪 貿易収支	5月 A\$15965m	A\$10825m
	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 0.2%/-1.5%	0.4%/-1.8%
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$85.5b	-\$84.7b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 235k	230k
7月8日	02:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	「現段階で75bpの利上げは合点がいく」	
	02:00	米 ウォラーFRB理事 講演	「次回75bpの利上げを支持」	

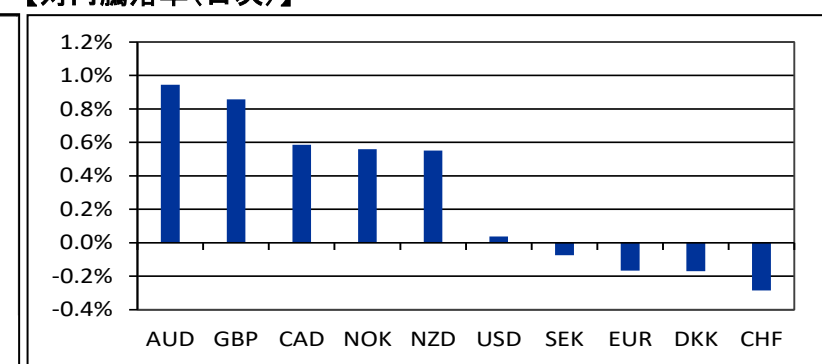
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月8日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	6月 268k	390k
	21:30	米 失業率	6月 3.6%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	6月 0.3%/5.0%	0.3%/5.2%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	5月 2.0%	2.0%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	5月 1.0%	0.7%
7月9日	00:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	6月 2.4%/6.0%	2.1%/6.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-137.00	1.0100-1.0300	137.50-139.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、前日の米景気指標が市場予想を上回りリスクオンとなったことを背景に底堅く推移。135.96レベルでオープン後、仲値にかけてドル売り円買いが進んだ。米国時間ではウォラーFRB理事やブラードセントルイス連銀総裁が次回FOMCでの75bp利上げを支持するなどタカ派スタンスを示したことで、米金利は3%近辺まで回復しドル円も136台に戻した。そのまま136.00レベルでクローズ。
本日のドル円は堅調推移を予想する。市場では予想対比良好な経済指標の発表が続いており、過度な景気減速懸念が和らいでいる。本日は、米6月雇用統計に注目が集まる。直近発表されたJOLT求人情数でも雇用市場の過度な悪化懸念は軽減されていることも踏まえ、市場予想を上回る結果となるかに注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・大谷